

「臭気発生源の撤去が全て完了しました」

仙塩浄化センターの周辺の住民の方々に大変なご迷惑をおかけしておりました施設の被災を原因とする臭気問題について、臭気発生源の撤去が全て終了しました。

臭気は、仮設沈殿池、水処理4系列、汚泥仮置場の3箇所が発生源となっており、臭気対策を実施しながら昨年8月から撤去作業を進めてきました。

施設撤去状況

・臭気発生原因及び現在までの対応 ▶ 「臭気対策編」、「臭気対策編VOL2」

・ 仮設沈殿池

平成23年7月撤去完了



「仮設沈殿池設置状況」
緩衝緑地公園内に面積1300㎡、深さ2mの池を設置しました。



「撤去開始」
貯まった水をポンプで汲み出した後に、底に貯まったゴミを撤去しました。



「埋戻状況」
底に貯まったゴミを取り除いた後、掘削した土で埋め戻しました。



「仮設沈殿池撤去完了」
仮設沈殿池の撤去が完了しました。今後、元のグラウンドに復旧されます。



「地下水影響調査」
ボーリングにより地下水を採取し、地下水への汚染がないことを確認しました。

・ 水処理施設（第4系列）

平成23年12月撤去完了



「堆積汚泥状況」
処理中だった汚泥と津波が運んできた大量の土砂が混じり合った状態。



「臭気対策」
臭気低減策として、消臭剤の散布及びビニールシートで覆いました。



「仮設脱水施設」
臭気拡散を抑制する目的で、脱水作業は大型テント内で実施しました。



「脱水汚泥撤出状況」
脱水した汚泥をダンプトラックにより場外へ搬出しました。積み込む際、消臭剤を散布して臭気低減に努めました。



「汚泥撤去完了」
汚泥撤去後、洗浄を実施しました。今後、水処理施設の調査及び復旧工事を進めていきます。

・ 汚泥仮置場

平成23年12月撤去完了



「汚泥堆積状況」
処理場内に穴を掘って仮置場を設置して、水処理施設に貯まった汚泥を搬入しました。



「仮覆土」
窓を開けて過ごす事が多い期間は覆土に臭気対策を実施した上で、作業を自粛しました。



「汚泥固化処理」
11月から汚泥に固化材を投入して運搬可能な状態にしました。



「場外搬出」
固化した汚泥をダンプトラックにより処分場へ搬出しました。



「汚泥撤去完了」
汚泥を完全に撤去した後に土で埋め戻しました。

震災による処理施設の全停止、津波によって大量の土砂が施設内に堆積したことにより、上記3施設を起因とする臭気が発生し、浄化センター周辺にお住まいの方々には大変なご迷惑をおかけしてきました。

今後、復旧工事を進めていく過程で工事内容によっては臭気等が発生する事があるかもしれませんが、今回の臭気発生源撤去により格段に改善するものと考えております。平成24年12月までに汚泥焼却施設以外の施設を復旧し、全面復旧に向けて全力で取り組んでいきますので引き続きご理解とご協力をお願いします。